



古今類句

也





2

新拾遺教 にはしれぬの氷乃うと清と
 後子喜上 山崎と朝ふふかうあうまの
 拾遺集四 いんりぬき喜の田雨はうま
 千秋喜下 つるぬき喜とまきと見つぬも
 新拾遺下 かけうまのまき玉河うと清と
 新拾遺下 あれりとのまき線色いぬきま
 新拾遺下 いまぬきあぬきまぬきま
 新拾遺下 あぬきまぬきまぬきま
 新拾遺下 いぬきまぬきまぬきま
 新拾遺下 せぬきまぬきまぬきま
 拾遺集外 又月毎六天乃川原もつるん
 後衣三 おろしぬきまぬきまぬきま
 夕雲方 ねきつるぬきまぬきまぬきま
 新拾遺下 山崎と朝ふふかうあうまの
 金葉春 山崎と朝ふふかうあうまの
 新拾遺上 とらぬきまぬきまぬきま

唯宗唐云
 皇太后太后
 大徳寺師頼
 中院入道
 権律師 則祐

権僧正 圖位
 常盤井入道
 右大臣大房

順徳院 山崎
 右大臣 大房
 貫之





古今雜下 今更了了人き下 けりてま 公しとていほむをて ちりていほむ
拾遺卷二 いまのりまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷下 けりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷四 君の代わりの月とふたつきに 只ひつ 今因せりて 同
新古今上 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
壬生二系中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
胡蝶 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
風雅卷下 吹風よまふりもあむけりて 只ひつ 今因せりて 同
玉葉卷上 秋風のさしつゝる 只ひつ 今因せりて 同
後古春上 梅のさすはるけりて 只ひつ 今因せりて 同
新古今下 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
新古今上 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
月清集下 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同

古今雜上 今更了了人き下 けりてま 公しとていほむをて ちりていほむ
拾遺卷二 いまのりまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷下 けりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷四 君の代わりの月とふたつきに 只ひつ 今因せりて 同
新古今上 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
壬生二系中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
胡蝶 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
風雅卷下 吹風よまふりもあむけりて 只ひつ 今因せりて 同
玉葉卷上 秋風のさしつゝる 只ひつ 今因せりて 同
後古春上 梅のさすはるけりて 只ひつ 今因せりて 同
新古今下 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
新古今上 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
拾遺卷中 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同
月清集下 ちりてまふふ (三) 人もあむけり 只ひつ 今因せりて 同

後古秋上 吹るるをていほむ

良道法師 茶大納言 并乳母 民部卿長家 負卷上人 順西法師 永極門院 本如法師 坂上是則 同

長秋集上

拾玉集七

同三

同二

壬生三月上

新撰其下

新撰其下

同

拾玉集二

後拾遺集上

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

新撰其下

月清集上

拾玉集六

同三

月清集下

新撰其下

山友集上

新撰其下

同下

風雅集下

拾遺雜歌

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

あまのなごの月をいそぐ

院佛奇

伏見院奇

律守園助

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

伏見院奇

院佛奇

栞程

あきそむけ石鳥の氷雪のまじりて

新古今集上

すくなくもいふはなはたの秋の

拾遺集上

あつたあつたあつたあつたあつた

拾玉集上

あつたあつたあつたあつたあつた

玉葉集一

あつたあつたあつたあつたあつた

新古今集上

あつたあつたあつたあつたあつた

壬生二京下

あつたあつたあつたあつたあつた

拾玉集四

あつたあつたあつたあつたあつた

同八

あつたあつたあつたあつたあつた

同四

あつたあつたあつたあつたあつた

後ふま

あつたあつたあつたあつたあつた

新勅林下

あつたあつたあつたあつたあつた

新古今集

あつたあつたあつたあつたあつた

新古今集

あつたあつたあつたあつたあつた

新古今集

あつたあつたあつたあつたあつた

新古今集

あつたあつたあつたあつたあつた

長秋詠藻

あつたあつたあつたあつたあつた

拾玉集六

君の代はさうとて秋のなるを

拾玉集二

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

長秋詠藻

君の代はさうとて秋のなるを

長秋詠藻

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

同

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

同

君の代はさうとて秋のなるを

拾遺集上

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

新古今集

君の代はさうとて秋のなるを

類例

新初夜 ありては... 東大...
 推本 又の... 東大...
 壬生三上 みる月の... 東大...
 玉葉集下 玉の... 東大...
 風雅長巻 玉の... 東大...
 玉葉集下 玉の... 東大...
 風雅長巻 玉の... 東大...
 壬生三上 玉の... 東大...
 玉葉集上 玉の... 東大...
 拾玉集上 玉の... 東大...
 同下 玉の... 東大...
 玉葉集上 玉の... 東大...
 同 玉の... 東大...
 新拾遺上 玉の... 東大...

玉葉集上 玉の... 東大...
 拾玉集一 玉の... 東大...
 玉葉集下 玉の... 東大...
 同 玉の... 東大...
 玉葉集上 玉の... 東大...
 風雅長巻 玉の... 東大...
 拾玉集四 玉の... 東大...
 玉葉集上 玉の... 東大...
 同 玉の... 東大...
 玉葉集下 玉の... 東大...
 同 玉の... 東大...
 玉葉集上 玉の... 東大...
 風雅長巻 玉の... 東大...
 拾玉集上 玉の... 東大...
 同下 玉の... 東大...
 玉葉集上 玉の... 東大...
 同 玉の... 東大...
 新拾遺上 玉の... 東大...

長秋詠 長秋は衣うるのうらみ多し
拾玉集一 ありを海の浦吹風ありて
新拾玉三 ありきもほくもあけ思ひ
玉葉志三 ありきもほくもあけ思ひ
新秋林下 ありきもほくもあけ思ひ
玉葉志上 ありきもほくもあけ思ひ
新秋林下 ありきもほくもあけ思ひ
後之雅中 ありきもほくもあけ思ひ
新秋志三 ありきもほくもあけ思ひ
新拾玉右 ありきもほくもあけ思ひ
拾玉集七 ありきもほくもあけ思ひ
新秋雅志 ありきもほくもあけ思ひ
新秋志二 ありきもほくもあけ思ひ
後拾遺列 ありきもほくもあけ思ひ
拾玉集八 ありきもほくもあけ思ひ
同一 ありきもほくもあけ思ひ
同三 ありきもほくもあけ思ひ

拾遺集傷 ありきもほくもあけ思ひ
拾玉集四 ありきもほくもあけ思ひ
後拾遺集 ありきもほくもあけ思ひ
新古秋上 ありきもほくもあけ思ひ
拾遺集事 ありきもほくもあけ思ひ
風雅秋下 ありきもほくもあけ思ひ
新古秋下 ありきもほくもあけ思ひ
風雅志 ありきもほくもあけ思ひ
拾遺集上 ありきもほくもあけ思ひ
月清集上 ありきもほくもあけ思ひ
長秋詠 ありきもほくもあけ思ひ
玉生三上 ありきもほくもあけ思ひ
風雅秋上 ありきもほくもあけ思ひ
新拾秋上 ありきもほくもあけ思ひ
新葉集揚 ありきもほくもあけ思ひ
古今秋下 ありきもほくもあけ思ひ
後古志二 ありきもほくもあけ思ひ
玉葉集上 ありきもほくもあけ思ひ

新撰古交 何事あつて花つとを詠見 山初ききす一連ある心 山崎山崎 山崎
 風雅五 何事あつて花つとを詠見 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 後子雅幹 若波のまゝりなきぬあひまの 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 新子交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾玉集六 ねわらふさるる月をさるる 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 同 ありまきくはれははははははは 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 同 様なき衣をたふぬさるる 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 山友集上 ありまの晴まもみぬさるる 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾玉集二 雲々風雲の指ふるさるる 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 新撰古交 縁衣つくりのさるるさるる 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 玉葉交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 新撰拾遺 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 新古交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 山友集上 わつとふれははははははは 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 新古交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 後拾遺 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾遺負外 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎

風雅五 何事あつて花つとを詠見 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 月情集 花乃袖のさるるさるる 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 玉生三上 梅のさるるさるるさるる 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 玉葉交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 山友集 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾玉集一 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 後子交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 新古交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 玉生三下 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾玉集七 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 月情集上 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 玉生二下 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾遺五 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 風雅五 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾玉集三 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 山友集上 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 拾遺新交 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎
 後子交下 多うたふあつちやふ月たふを 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎 山崎山崎

新撰百集 花よりうらふ人もこころんぬりて 山崎集上 花よりうらふ人もこころんぬりて 種名漢道

壬生二品中 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

續後撰春上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

新撰拾遺下 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

後撰拾遺三 つのまはらうつらうら三吉野の 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

古今集上 様花をまはらうらも是引の 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

壬生二品中 白雲を推さうらむらん是引の 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

古今集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

新撰拾遺上 つく其も我をねらうるをみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

新撰拾遺上 つく其も我をねらうるをみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

後撰拾遺上 つく其も我をねらうるをみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

古今集上 つく其も我をねらうるをみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

拾玉集二 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

同三 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

新撰拾遺中 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 山崎集上 其もたは雪の白雲をみれば 種名漢道

新編古三 物... 同感又... 新古夜... 後衣二... 新古夜三... 拾玉集四... 風雅雜五... 拾遺珠六... 風雅雜下... 後拾雜中... 新古雜下... 新古集六... 新古夜七... 新拾遺八... 山家集上... 玉葉集三... 同感...

けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい...

拾遺珠六 けいれい... 風雅雜下 けいれい... 後拾雜中 けいれい... 新古雜下 けいれい... 新古集六 けいれい... 新古夜七 けいれい... 新拾遺八 けいれい... 山家集上 けいれい... 玉葉集三 けいれい...

風雅雜上 けいれい... 後古夜四 けいれい... 新葉雜上 けいれい... 拾遺秋 けいれい... 新古夜冬 けいれい... 新拾遺冬 けいれい... 同感四 けいれい... 玉葉集一 けいれい...

けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい... けいれい...

風雅雜上 けいれい... 後古夜四 けいれい... 新葉雜上 けいれい... 拾遺秋 けいれい... 新古夜冬 けいれい... 新拾遺冬 けいれい... 同感四 けいれい... 玉葉集一 けいれい...

Handwritten text in a rectangular frame, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is written in a cursive script and is mostly illegible due to fading and the condition of the paper. Some words are difficult to decipher but appear to include names and possibly dates or locations.

